

京都府総合評価競争入札委員会（平成26年度第1回） 議事概要

開催日時及び場所	平成26年8月6日（水） 午前9時30分～10時55分 ルビノ京都堀川 アムール	
出席委員氏名（職業）	委員長 谷口 栄一（京都大学大学院工学研究科教授） 委員 富永 安弘（国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所副所長） 委員 武田 字浦（明石工業高等専門学校都市システム工学科准教授）	
議 事 概 要	<p>1 開会あいさつ（西村総務部副部長）</p> <p>※ 委員長等選出 議事に先立ち、委員の互選により谷口委員が委員長に選出されるとともに、委員長代理として富永委員が指名された。</p> <p>2 議 事</p> <p>（1）平成25年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度における総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について報告 <p>（2）平成25年度抽出事案報告について〔非公開〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度における総合評価競争入札（簡易型）試行案件のうち3件を抽出し、実施状況を報告 	
委員からの意見・質問 とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	別紙のとおり	別紙のとおり

別 紙

(1) 平成25年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について

意見・質問	回 答 等
<p>◇標準型の洛西浄化センター下水汚泥固形燃料化事業における落札率が61.9%と低いのは何故か。</p> <p>◇国では平成26年2月に設計労務単価の上げを行ったが、京都府の対応はどうか。</p> <p>◇評価値が同値の場合に行われるくじ引きは平成25年度は2件と少ないが、どのような仕組みで、くじを行っているのか。</p> <p>◇予定価格の事後公表を試行するに当たり、コンプライアンス面での配慮はしているのか。</p> <p>◇入札不調や不落の状況はどうか。</p>	<p>◇本案件については、建設工事だけでなく、今後の運用も含めたDBO方式で入札を実施しており、府が想定していなかった技術を採用した企業が安価で落札したため、低い落札率となったものです。</p> <p>◇府においても、ほぼ同じタイミングで同様の引上げを行っています。</p> <p>◇落札者を決定する評価値は、技術評価点を入札金額で除して算定しています。平成24年度に技術評価点を細分化し、同一の評価値となることが少なくなったことにより、くじ引き発生率は大幅に減少しています。 くじの実施手法ですが、入札参加企業が入札時に定めたくじ番号により、電子入札システム上で、電子くじが自動的に行われることになっています。</p> <p>◇発注所属ごとに、入札コンプライアンス管理指導チーム等を設置し、日常的に指導を行わせるとともに、パーテーション等により覗き見が構造上できないようにするなど、問題が生じないように配慮して実施しています。今のところ情報の漏えい等の問題は生じていません。</p> <p>◇京都府での不落の発生率は5～6%程度で推移しており、全国的に見て比較的低水準となっています。きめ細かな発注見通しの公表や、工事着工が一定の幅で選択可能なフレックス工期の採用などにより、発生率の低減に一定の効果があったものと考えています。</p>

(2) 平成25年度抽出事案報告について [非公開]

◇国道372号地方道路交付金事業

意見・質問	回 答 等
<p>◇技術提案内容がパターン化してきているのではないか。</p>	<p>◇一般的な土木工事では、同じような提案が多くなる傾向にあります。国土交通省でも2極化されていることもあり、今後、単純な工事については、施工計画を求めない地域活性型にシフトしていくものと考えています。</p>

◇西方寺岡田由里線防災・安全交付金（交安）工事

意見・質問	回 答 等
<p>◇提案内容の実施状況につ</p>	<p>◇完成検査時に必ず確認しており、できていなければ成</p>

<p>いては、事後に確認するの か。</p>	<p>績点で減点としています。</p>
----------------------------	---------------------

◇六万部急傾斜地崩壊対策（防災安全）工事

意見・質問	回 答 等
<p>◇加点項目「表彰」では、 どのような手法で加点して いるのか。</p>	<p>◇工事成績点で80点以上の者が奨励賞の対象になり、そのうち上位の15～20者程度が優秀賞の対象となります。それぞれに加算点が異なるとともに、加点対象となる回数の制限も設けています。</p>

平成26年度第1回京都府総合評価競争入札委員会次第

日 時 平成26年8月6日(水)

午前9時30分～11時

場 所 ルビノ京都堀川 アムール

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 平成25年度総合評価競争入札(簡易型)の試行状況等について

(2) 平成25年度抽出事案報告について

4 閉 会

京都府総合評価競争入札委員会 委員名簿

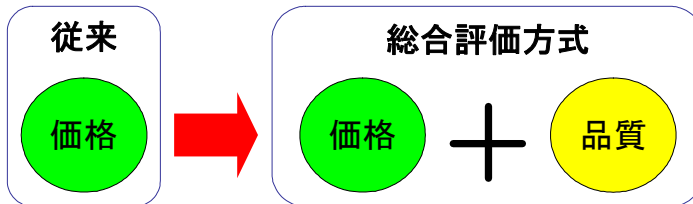
平成26年8月6日現在(敬称略、五十音順)

役職	氏名	所属等	任期
委員	たけだ なほ 武田 字浦	明石工業高等専門学校 都市システム工学科 准教授	平成26年4月24日 ～平成28年3月31日
	たにぐち えいいち 谷口 栄一	京都大学大学院 工学研究科 教授	平成26年4月1日 ～平成28年3月31日
	とみなが やすひろ 富永 安弘	国土交通省近畿地方整備局 京都国道事務所 副所長	平成25年4月1日 ～平成27年3月31日

総合評価競争入札について

1 総合評価競争入札の仕組み

■品質を評価する入札契約制度の導入



<総合評価方式の効果>

- ①品質の確保
- ②談合が行われにくい環境の整備
- ③施工計画書の事前評価
 - 周辺住民等への迷惑が軽減
 - 工事中の安全性が向上
- ④業者の育成と技術力向上
 - 不良不適格業者の排除
 - 地域力向上（災害対応等）

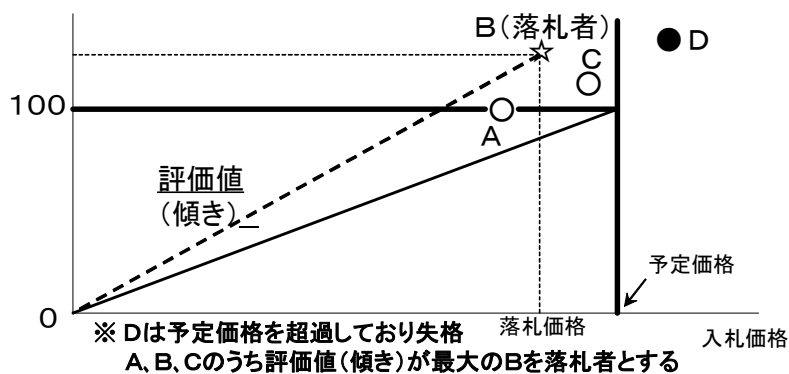
■加算点等は学識経験者の意見を聞いて決定
(評価項目、評価基準は事前に公表)

■工事価格と品質(性能等)を相対的に評価

$$\text{評価値} = \frac{100\text{点} + \text{加算点}}{\text{入札価格}} \quad \begin{matrix} \text{※} 0 \leq \text{加算点} \leq 8 \\ \sim 50 \end{matrix}$$

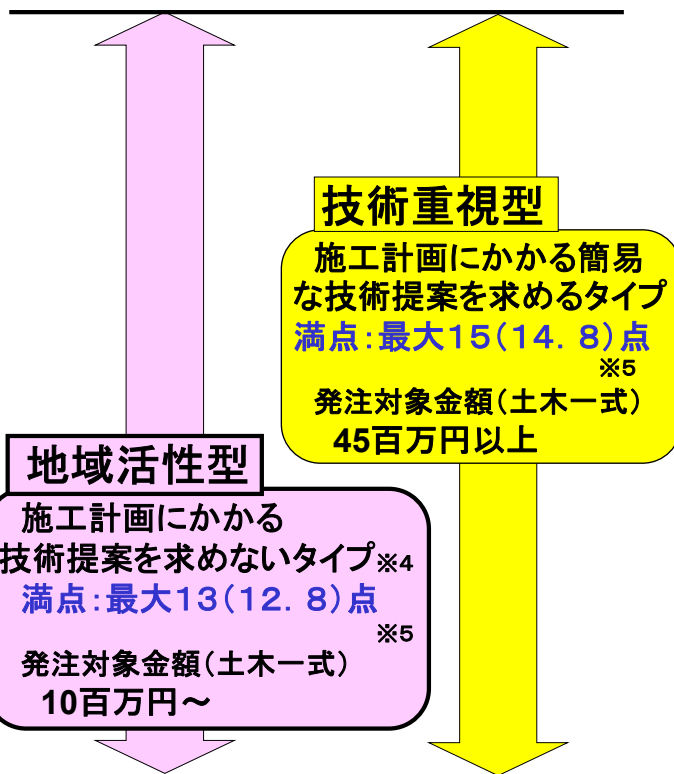
(除算法)

(100点＝標準点)



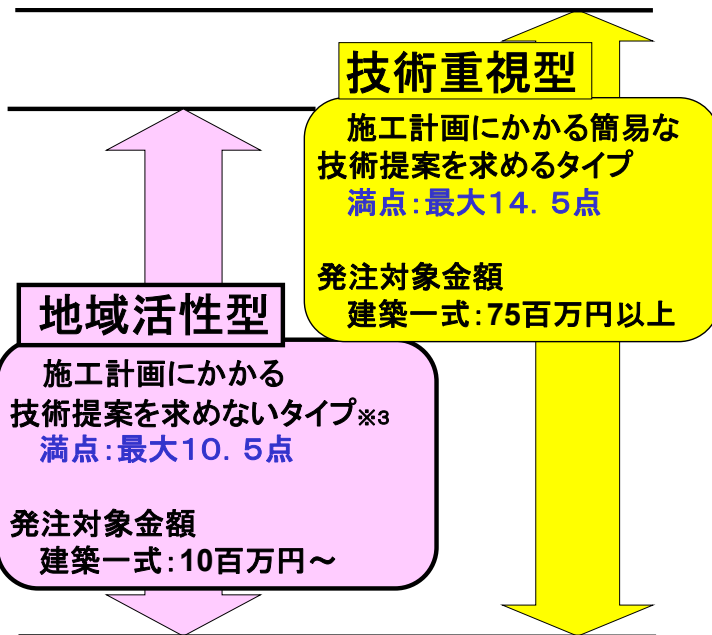
2 評価内容（平成26年度）

評価項目（土木一式）		配点	
施工計画（2項目）		4～6 ※1	
企業の技術力	表彰	1	
	配置予定技術者	H11以降の同規模工事成績評定 ※3	1
		技術者の継続教育（CPD）	0.8
建設機械保有	経営事項審査において加点対象となる建設機械の保有状況	1	
地域調達・雇用		府内の企業の下請	5
		府内資材調達	
		雇用維持（H23→H26） （経審：技術職員数）	
その他 ※2	緊急時の現場対応	主たる営業所の所在地	0～2
	除雪	地域維持業務（小修繕工事又は除雪等業務委託）の実績	



- ※1 最大15点満点の範囲で、3項目6点の場合あり
- ※2 案件により選択項目、建築工事においては、選択しない
- ※3 25万円未満は所有する国家資格
- ※4 25万円以上では、技術提案を求めることが可能
- ※5 CPDの加算点を最大0.8点としている期間における最大点

評価項目（建築一式・電気・管工事）		配点		
施工計画（2項目）		4～6 ※1		
企業の技術力	表彰	1		
	配置予定技術者	H12以降の同規模工事成績評定 ※2	1	
		技術者の継続教育（CPD）	0.5	
	技能士（複数）又は基幹技能者の活用	1		
地域調達・雇用		府内の企業の下請	5	
		府内資材調達		
		雇用		雇用維持（H23→H26） （経審：技術職員数）
				当該業種の技術者数



- ※1 最大13点満点の範囲で、3項目6点の場合あり
- ※2 建築一式工事のうち、75万円未満でⅡ等級発注とするものは保有する国家資格
- ※3 格付けⅠ等級を対象とする場合は、技術提案を求めることが可能

○ 平成25年度総合評価競争入札(簡易型)の落札者決定基準(土木一式)9月1日適用

<技術重視型:4500万円以上>

<地域活性型:2500万円以上(4500万円以上)>

<地域活性型:1000万円~2500万円>

加算点評価項目		必須	選択	評価内容	加算点	
施工計画 (技術重視型のみ)	品質管理	(●)		必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である。	2	
	施工管理・安全管理等	(●)	※●	必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる。	1.5	
必要事項の記載が適切である。(共通仕様書程度)				1		
				必要事項の記載がないものがある。	0	
				記載がない又は不適	失格	
配置予定技術者	同規模工事の監理技術者または主任技術者としての最高評点(H11以降に完工) <地域活性型Bの場合> 所有する国家資格	●		80点以上	1	
				77.5点以上 80点未満	0.9	
				75点以上 77.5点未満	0.8	
				72.5点以上 75点未満	0.7	
				70点以上 72.5点未満	0.6	
				67.5点以上 70点未満	0.5	
				65点以上 67.5点未満	0.4	
				65点未満 または 実績なし	0	
				技術者の継続教育(CPD)	●	
				2年間の取得単位15~29単位	0.5点	
			2年間の取得単位15単位未満	0点		
建設機械保有	経営事項審査において加算対象となる建設機械の保有状況	●		保有台数4台以上	1	
				保有台数3台	0.9	
				保有台数2台	0.8	
				保有台数1台	0.7	
				保有無し	0	
表彰	京都府地域づくり優良工事施工者表彰	●		優秀賞 受賞あり(回数制限)	1(0.3)	
				奨励賞 受賞あり(回数制限)	0.5(0)	
				なし	0	
地域調達・雇用	府内企業の下請	●		下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3 [小数第1位止め]	3~0	
				下請率100%	失格	
	府内資材調達	●		すべて府内調達	1	
				一部府内調達	0.5	
				府内調達なし	0	
	雇用	「技術職員数」の維持(H25:H22)	●		職員数の減少率10%以内	0.5
					職員数の減少率が10%を超えたものの内、減少率20%以内又は職員数減少が2人以内	0.25
					職員数の減少率20%超かつ職員数減少が3人以上	0
各業種毎に雇用している「技術職員数」(H25) ※2		●			技術職員数16人以上	0.5
					技術職員数13~15人	0.4
					技術職員数10~12人	0.3
			技術職員数7~9人	0.2		
			技術職員数4~6人	0.1		
			技術職員数3人以下	0		
その他	緊急時の現場対応	●		※この項目は、出水時等に緊急対応が必要な河川・砂防工事や、現道沿いの山切工事等で設定する。	1	
				現場の土木事務所管内	1	
				現場の土木事務所管外	0	
地域への貢献	地域維持業務(小修繕工事又は除雪等業務委託)の実績 ※3	●		冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有有り	1	
				冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有無し	0.5	
				維持修繕部門の表彰有り	0.5	
				表彰無し	0	
加算点満点計				(14.8) 最大15点		

評価内容		加算点
必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である。	2	2点
必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる。	1.5	
必要事項の記載が適切である。(共通仕様書程度)	1	2点
必要事項の記載がないものがある。	0	
記載がない又は不適	失格	
80点以上	1	1点
77.5点以上 80点未満	0.9	
75点以上 77.5点未満	0.8	
72.5点以上 75点未満	0.7	
70点以上 72.5点未満	0.6	
67.5点以上 70点未満	0.5	
65点以上 67.5点未満	0.4	
65点未満 または 実績なし	0	
2年間の取得単位30単位以上	0.8点	
2年間の取得単位15~29単位	0.5点	
2年間の取得単位15単位未満	0点	
保有台数4台以上	1	1点
保有台数3台	0.9	
保有台数2台	0.8	
保有台数1台	0.7	
保有無し	0	
優秀賞 受賞あり(回数制限)	1(0.3)	1点
奨励賞 受賞あり(回数制限)	0.5(0)	
なし	0	
下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3 [小数第1位止め]	3~0	3点
下請率100%	失格	
すべて府内調達	1	1点
一部府内調達	0.5	
府内調達なし	0	
職員数の減少率10%以内	0.5	0.5点
職員数の減少率が10%を超えたものの内、減少率20%以内又は職員数減少が2人以内	0.25	
職員数の減少率20%超かつ職員数減少が3人以上	0	
技術職員数6(16)人以上	0.5	0.5点
技術職員数5(13~15)人	0.4	
技術職員数4(10~12)人	0.3	
技術職員数3(7~9)人	0.2	
技術職員数2(4~6)人	0.1	
技術職員数1(3人以下)人	0	
※この項目は、出水時等に緊急対応が必要な河川・砂防工事や、現道沿いの山切工事等で設定する。	1	1点
現場の土木事務所管内	1	
現場の土木事務所管外	0	
冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有有り	1	1点
冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有無し	0.5	
維持修繕部門の表彰有り	0.5	
表彰無し	0	
(12.8) 最大13点		

評価内容		加算点
1級 国家資格者	1	1点
2級 国家資格者	0.5	
その他技術者	0	
2年間の取得単位30単位以上	0.8点	0.8点
2年間の取得単位15~29単位	0.5点	
2年間の取得単位15単位未満	0点	
保有台数4台以上	1	1点
保有台数3台	0.9	
保有台数2台	0.8	
保有台数1台	0.7	
保有無し	0	
優秀賞 受賞あり(回数制限)	1(0.3)	1点
奨励賞 受賞あり(回数制限)	0.5(0)	
なし	0	
下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3 [小数第1位止め]	3~0	3点
下請率100%	失格	
すべて府内調達	1	1点
一部府内調達	0.5	
府内調達なし	0	
職員数の減少率10%以内	0.5	0.5点
職員数の減少率が10%を超えたものの内、減少率20%以内又は職員数減少が2人以内	0.25	
職員数の減少率20%超かつ職員数減少が3人以上	0	
技術職員数6人以上	0.5	0.5点
技術職員数5人	0.4	
技術職員数4人	0.3	
技術職員数3人	0.2	
技術職員数2人	0.1	
技術職員数1人	0	
※この項目は、出水時等に緊急対応が必要な河川・砂防工事や、現道沿いの山切工事等で設定する。	1	1点
現場の土木事務所管内	1	
現場の土木事務所管外	0	
冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有有り	1	1点
冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有無し	0.5	
維持修繕部門の表彰有り	0.5	
表彰無し	0	
(10.8) 最大11点		

加算点満点計欄上段()内は、CPDの加算点を最大0.8点としている期間における最大点

※1: 地域活性型においては、必要に応じ1項目を設定

※2: 4,500万円以上の土木一式工事で地域活性型を実施する場合は、「技術職員数」は技術重視型の評価内容を適用する。

※3: 表彰は工事箇所が存在する管内の土木事務所長からの表彰に限る。また、除雪機械の保有は、表彰対象となった府管理道路の除雪に使用していたものに限る。(府から除雪機械の貸付を受けていた場合は対象外)

○ 平成25年度総合評価競争入札(簡易型)の落札者決定基準(ほ装)9月1日適用

<技術重視型:4500万円以上>

<地域活性型:1000万円以上>

加算点評価項目		必須	選択	評価内容	加算点
施工計画 (技術重視型のみ)	品質管理	(●)		必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である。 必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる。	2 1.5
	施工管理・安全管理等	(●)	※●	必要事項の記載が適切である。(共通仕様書程度) 必要事項の記載がないものがある。 記載がない又は不適	1 0 失格
配置予定技術者	同規模工事の監理技術者または主任技術者としての最高評点(H11以降に完工) <地域活性型Bの場合> 所有する国家資格	●		80点以上 77.5点以上 80点未満 75点以上 77.5点未満 72.5点以上 75点未満 70点以上 72.5点未満 67.5点以上 70点未満 65点以上 67.5点未満 65点未満 または 実績なし	1 0.9 0.8 0.7 0.6 0.5 0.4 0
	技術者の継続教育(CPD)	●		2年間の取得単位30単位以上 2年間の取得単位15~29単位 2年間の取得単位15単位未満	0.8点 0.5点 0点
建設機械保有	当該工事に使用する標準的な建設機械(重機)の保有状況	●		自社所有(1台以上)(リースによる保有含む) 自社所有でない	1 0
表彰	京都府地域づくり優良工事施工者表彰	●		優秀賞 受賞あり(回数制限) 奨励賞 受賞あり(回数制限) なし	1(0.3) 0.5(0) 0
地域調達・雇用	府内企業の下請	●		下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3 [小数第1位止め] 下請率100%	3 5 0 失格
	府内資材調達	●		すべて府内調達 一部府内調達 府内調達なし	1 0.5 0
	雇用	●		「技術職員数」の維持(H25:H22) 職員数の減少率が10%を超えたものの内、減少率20%以内又は職員数減少が2人以内 職員数の減少率20%超かつ職員数減少が3人以上	0.5 0.25 0
地域への貢献	各業種毎に雇用している「技術職員数」(H25)	●		技術職員数16人以上 技術職員数13~15人 技術職員数10~12人 技術職員数7~9人 技術職員数4~6人 技術職員数3人以下	0.5 0.4 0.3 0.2 0.1 0
		●		冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有有り 冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有無し 維持修繕部門の表彰有り 表彰無し	1 0.5 0.5 0
加算点満点計					(13.8) 最大14点

評価内容		加算点
必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である。 必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる。 必要事項の記載が適切である。(共通仕様書程度) 必要事項の記載がないものがある。 記載がない又は不適	2 1.5 1 0 失格	2点
80点以上 77.5点以上 80点未満 75点以上 77.5点未満 72.5点以上 75点未満 70点以上 72.5点未満 67.5点以上 70点未満 65点以上 67.5点未満 65点未満 または 実績なし	1 0.9 0.8 0.7 0.6 0.5 0.4 0	1点
2年間の取得単位30単位以上 2年間の取得単位15~29単位 2年間の取得単位15単位未満	0.8点 0.5点 0点	0.8点
自社所有(1台以上)(リースによる保有含む) 自社所有でない	1 0	1点
優秀賞 受賞あり(回数制限) 奨励賞 受賞あり(回数制限) なし	1(0.3) 0.5(0) 0	1点
下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3 [小数第1位止め] 下請率100%	3 5 0 失格	3点
すべて府内調達 一部府内調達 府内調達なし	1 0.5 0	1点
職員数の減少率10%以内 職員数の減少率が10%を超えたものの内、減少率20%以内又は職員数減少が2人以内 職員数の減少率20%超かつ職員数減少が3人以上	0.5 0.25 0	0.5点
技術職員数16人以上 技術職員数13~15人 技術職員数10~12人 技術職員数7~9人 技術職員数4~6人 技術職員数3人以下	0.5 0.4 0.3 0.2 0.1 0	0.5点
冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有有り 冬期維持管理部門の表彰有りかつ除雪機械の保有無し 維持修繕部門の表彰有り 表彰無し	1 0.5 0.5 0	1点
加算点満点計		(11.8) 最大12点

加算点満点計欄上段()内は、CPDの加算点を最大0.8点としている期間における最大点

※1:地域活性型においては、必要に応じ1項目を設定

※2:表彰は工事箇所が存在する管内の土木事務所長からの表彰に限る。また、除雪機械の保有は、表彰対象となった府管理道路の除雪に使用していたものに限る。(府から除雪機械の貸付を受けていた場合は対象外)

○ 営繕工事における総合評価競争入札(簡易型)の落札者決定基準 (建築一式工事)

		＜技術重視型＞				＜地域活性化型A＞			＜地域活性化型B＞		
加算点評価項目		必須	選択	評価内容	加算点	評価内容		加算点	評価内容		加算点
施工計画 (技術重視型のみ)	品質管理	(●)		必要事項の記載が適切であり、 さらに工夫が複数見られる 又は高度である	2	必要事項の記載が適切であり、 さらに工夫が複数見られる 又は高度である		2			
	施工管理・安全管理等	(●)	※1	必要事項の記載が適切であり、 さらに工夫が見られる	1.5	必要事項の記載が適切であり、 さらに工夫が見られる		1.5			
		(●)	●	必要事項の記載が適切である (標準仕様書程度)	1	必要事項の記載が適切である (標準仕様書程度)		1	2点 × 1項目		
				必要事項の記載がないものがある	0	必要事項の記載がないものがある		0			
				記載がない又は不適	失格	記載がない又は不適		失格			
配置予定技術者	同規模工事の監理技術者または 主任技術者としての最高評点 (H12以降に完工)	●		80点以上 77.5点以上 80点未満 75点以上 77.5点未満 72.5点以上 75点未満 70点以上 72.5点未満 67.5点以上 70点未満 65点以上 67.5点未満 65点未満 または 実績なし	1 0.9 0.8 0.7 0.6 0.5 0.4 0	80点以上 77.5点以上 80点未満 75点以上 77.5点未満 72.5点以上 75点未満 70点以上 72.5点未満 67.5点以上 70点未満 65点以上 67.5点未満 65点未満 または 実績なし		1 0.9 0.8 0.7 0.6 0.5 0.4 0	1級 国家資格者 2級 国家資格者 その他技術者		1 0.5 0
	<地域活性化型Bの場合> 所有する国家資格									1点	
	技術者の継続教育(CPD)	●		2年間の取得単位 9単位以上 2年間の取得単位 9単位未満	0.5 0	2年間の取得単位 9単位以上 2年間の取得単位 9単位未満		0.5 0	0.5点		0.5 0
技能士(複数)又は基幹技能者の活用※2		●		指定職種において活用あり 指定職種において活用なし	1 0	指定職種において活用あり 指定職種において活用なし		1 0	1点		1 0
表彰	京都府地域づくり 優良工事施工者表彰	●		優秀賞 受賞あり(回数制限)	1(0.3)	優秀賞 受賞あり(回数制限)		1(0.3)	優秀賞 受賞あり(回数制限)		1(0.3)
				奨励賞 受賞あり(回数制限) なし	0.5(0) 0	奨励賞 受賞あり(回数制限) なし		0.5(0) 0	奨励賞 受賞あり(回数制限) なし		0.5(0) 0
地域調達 ・雇用	府内企業 の下請	●		下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3 (小数第1位止め)	3~0	下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3 (小数第1位止め)		3~0	3点		3~0 3点
	府内資材 調達	●		下請率100%	失格	下請率100%		失格	失格		失格
	雇用	●		職員数の減少率10%以内 職員数の減少率が10%を超えた ものの内、減少率20%以内又は 職員数減少が2人以内	0.5 0.25	職員数の減少率10%以内 職員数の減少率が10%を超えた ものの内、減少率20%以内又は 職員数減少が2人以内		0.5 0.25	0.5点		0.5 0.25
		●		職員数の減少率20%超 かつ職員数減少が3人以上	0	職員数の減少率20%超 かつ職員数減少が3人以上		0	0		0
	●		技術職員数16人以上 技術職員数13~15人 技術職員数10~12人 技術職員数7~9人 技術職員数4~6人 技術職員数3人以下	0.5 0.4 0.3 0.2 0.1 0	技術職員数16人以上 技術職員数13~15人 技術職員数10~12人 技術職員数7~9人 技術職員数4~6人 技術職員数3人以下		0.5 0.4 0.3 0.2 0.1 0	0.5点		0.5 0.4 0.3 0.2 0.1 0	
加算点満点計					最大14.5点	最大10.5点			最大8.5点		

※1：地域活性化型においては、必要に応じ1項目を設定

※2：指定する職種において、基幹技能者の活用がある場合、又は、設計図書で規定する技能士に加え、更に、技能士の活用がある場合に加点する。
また、活用とは、当該工事の施工時に資格者として現場に携わることを用いる。

○ 営繕工事における総合評価競争入札(簡易型)の落札者決定基準（電気・管工事）

		＜技術重視型＞				＜地域活性型＞					
加算点評価項目		必須	選択	評価内容	加算点		評価内容		加算点		
施工計画 (技術重視型のみ)	品質管理	●		必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である	2	2点 × 2～3 項目	必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である	2	2点 × 1項目		
	施工管理・安全管理等	●	●	必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる	1.5		必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる	1.5			
必要事項の記載が適切である(標準仕様書程度)				1	必要事項の記載が適切である(標準仕様書程度)		1				
				必要事項の記載がないものがある	0		必要事項の記載がないものがある	0			
				記載がない又は不適	失格		記載がない又は不適	失格			
配置予定技術者	同規模工事の監理技術者または主任技術者としての最高評点(H12以降に完工)	●		80点以上	1	1点	80点以上	1			
	＜地域活性型Bの場合＞ 所有する国家資格			77.5点以上 80点未満	0.9		77.5点以上 80点未満	0.9			
				75点以上 77.5点未満	0.8	75点以上 77.5点未満	0.8				
				72.5点以上 75点未満	0.7	72.5点以上 75点未満	0.7				
				70点以上 72.5点未満	0.6	70点以上 72.5点未満	0.6				
				67.5点以上 70点未満	0.5	67.5点以上 70点未満	0.5				
				65点以上 67.5点未満	0.4	65点以上 67.5点未満	0.4				
				65点未満 または 実績なし	0	65点未満 または 実績なし	0				
	技術者の継続教育(CPD)	●		2年間の取得単位 9単位以上	0.5	0.5点	2年間の取得単位 9単位以上	0.5			
				2年間の取得単位 9単位未満	0		2年間の取得単位 9単位未満	0			
技能士(複数)又は基幹技能者の活用 ^{※2}		●		指定職種において活用あり	1	1点	指定職種において活用あり	1			
				指定職種において活用なし	0		指定職種において活用なし	0			
表彰	京都府地域づくり優良工事施工者表彰	●		優秀賞 受賞あり(回数制限)	1(0.3)	1点	優秀賞 受賞あり(回数制限)	1(0.3)			
				奨励賞 受賞あり(回数制限)	0.5(0)		奨励賞 受賞あり(回数制限)	0.5(0)			
				なし	0	なし	0				
地域調達・雇用	府内企業の下請	●		下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3	3~0	3点	下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3	3~0			
				(小数第1位止め)	失格		(小数第1位止め)	失格			
	府内資材調達	●		すべて府内調達	1	1点	すべて府内調達	1			
				一部府内調達	0.5		一部府内調達	0.5			
				府内調達なし	0	府内調達なし	0				
雇用	「技術職員数」の維持(H25・H22)	●		職員数の減少率10%以内	0.5	0.5点	職員数の減少率10%以内	0.5			
				職員数の減少率が10%を超えたものの内、減少率20%以内又は職員数減少が2人以内	0.25		職員数の減少率が10%を超えたものの内、減少率20%以内又は職員数減少が2人以内	0.25			
				職員数の減少率20%超かつ職員数減少が3人以上	0	職員数の減少率20%超かつ職員数減少が3人以上	0				
	各業種毎に雇用している「技術職員数」(H25)	●		技術職員数13人以上	0.5	0.5点	技術職員数13人以上	0.5			
								技術職員数10~12人	0.4	技術職員数10~12人	0.4
								技術職員数7~9人	0.3	技術職員数7~9人	0.3
								技術職員数5~6人	0.2	技術職員数5~6人	0.2
								技術職員数3~4人	0.1	技術職員数3~4人	0.1
				技術職員数2人以下	0	技術職員数2人以下	0				
加算点満点計					最大14.5点		最大10.5点				

※1：地域活性型においては、必要に応じ1項目を設定

※2：管工事においては、指定する職種において、基幹技能者の活用がある場合、又は、設計図書で規定する技能士に加え、更に、技能士の活用がある場合に加点する。
電気工事においては、基幹技能者の活用がある場合に加点する。
また、活用とは、当該工事の施工時に資格者として現場に携わることを用いる。

平成 25 年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について

1 実施状況

◆開札結果概要

下段（ ）：H24年度累計

対象工事	分類	件数	平均参加者数	平均落札率	逆転数[割合]	くじ発生数[割合]
土木一式	技術重視型	53件 (62件)	7.5者 (10.0者)	88.8% (85.9%)	17件 [32.1%] (28件 [45.2%])	1件 [1.9%] (0件 [0%])
	地域活性型A	86件 (81件)	6.3者 (7.8者)	89.0% (85.3%)	26件 [30.2%] (41件 [50.6%])	1件 [1.2%] (2件 [2.5%])
	地域活性型B	30件 (43件)	8.2者 (11.5者)	87.1% (85.0%)	13件 [43.3%] (18件 [41.9%])	0件 [0%] (2件 [4.7%])
	舗装	技術重視型	1件 (1件)	10者 (6者)	85.3% (85.6%)	1件 [100%] (0件 [0%])
舗装	地域活性型A	9件 (-)	6.9者 (-)	88.1% (-)	6件 [66.7%] (-)	0件 [0%] (-)
	地域活性型B	2件 (-)	3.5者 (-)	87.4% (-)	0件 [0%] (-)	0件 [0%] (-)
	建築一式	技術重視型	- (1件)	- (10者)	- (79.7%)	- (0件 [0%])
建築一式	地域活性型A	1件 (-)	3.0者 (-)	89.8% (-)	0件 [0%] (-)	0件 [0%] (-)
	地域活性型B	7件 (4件)	1.1者 (3.8者)	96.6% (86.5%)	0件 [0%] (0件 [0%])	0件 [0%] (0件 [0%])
	建築設備	地域活性型	5件 (6件)	6.0者 (15.2者)	87.7% (85.7%)	2件 [40.0%] (4件 [66.7%])
	合計	194件 (198件)	6.7者 (9.4者)	88.8% (85.4%)	65件 [33.5%] (91件 [46.0%])	2件 [1.0%] (4件 [2.0%])

◆逆転数内訳

下段（ ）：H24年度累計 単位：件

		評価点順位				計	
		1位	2位	3位以下	計		
入札額順位	1位	91 (60)	24 (16)	15 (31)	130 (107)	逆転計 65 (91)	
	逆転	2位	25 (27)	5 (5)	2 (3)		32 (35)
		3位	13 (12)	2 (2)	1 (2)		16 (16)
		4位以下	17 (39)	0 (1)	0 (0)		17 (40)
	計	146 (138)	31 (24)	18 (36)	195 (198)		

2 履行状況

(H26.6末現在)

	対象件数	完了件数	工事成績平均	全工事成績平均
H24年度	198件	198件	76.0点	73.3点
H25年度	194件	133件	75.1点	74.7点

※ H25全工事成績平均は4～3月検査分の平均

(参考) 平成25年度標準型実施状況

工事等名	参加者数	落札率	備考
新総合資料館（仮称）新築工事（主体工事）（再）	3者	93.0%	入札不調による再度入札
桂川右岸流域下水道 洛西浄化センター下水污泥固形燃料化事業	4者	61.9%	
桂川右岸流域下水道 幹線管渠工事（雨水南幹線発進立坑）	2者	80.0%	
木津川上流流域下水道 木津川上流浄化センター建設工事（水処理施設）	4者	89.5%	

資料3

平成25年度抽出事案報告について

(金額単位:千円)

工事名	種類	開札日	工期	業種	発注機関	参加者数	落札業者名	落札者の 評価点 順位	落札者の 入札額 順位	予定価格	落札者の 入札額	落札率	最低額 応札者	逆転額	逆転率
													入札額		
国道372号地方道路 交付金工事 ＜南丹25地道交第372の 1号の1の3＞	技術重視型	11月19日	H25.12 ～ H26.3	土木 一式 工事	南丹土木 事務所	8	南桑・国元・ク ニテック特定建 設工事共同企業 体	2	3	226,440	200,071	88.4%	199,096	975	0.43%
西方寺岡田由里線防 災・安全交付金（交 安）工事 ＜中東24防災安全（交安） 第570号の1の1＞	技術重視型	6月13日	H25.6 ～ H26.3	土木 一式 工事	中丹東土 木事務所	14	金下建設（株）	1	8	76,060	64,940	85.4%	64,710	230	0.30%
六万部急傾斜地崩壊対 策（防災安全）工事 ＜丹後25急対（防安）第4 660号の1の1＞他1件	地域活性型	9月9日	H25.9 ～ H26.3	土木 一式 工事	丹後土木 事務所	10	（株）マルキ建 設	1	4	74,610	66,560	89.2%	66,166	394	0.53%